

ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* F.Smith

【選定理由】

河川敷や砂浜が少なくなり、生息環境が狭められた。その上、車両が砂浜を走行するために生活できない状況となっている。

【形態】

体長 20～23mm。体は黒色で黄白色の斑紋がある。上唇が長く飛び出しているため、ハナダカバチという。



♀. 名古屋市守山区小幡, 2013年7月, 大草伸治 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

木曾川など大きな河川の河川敷や海浜。内陸でも砂地の見られる場所に見つかることもある。矢作川流域にも記録が見られる。

【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州、屋久島。

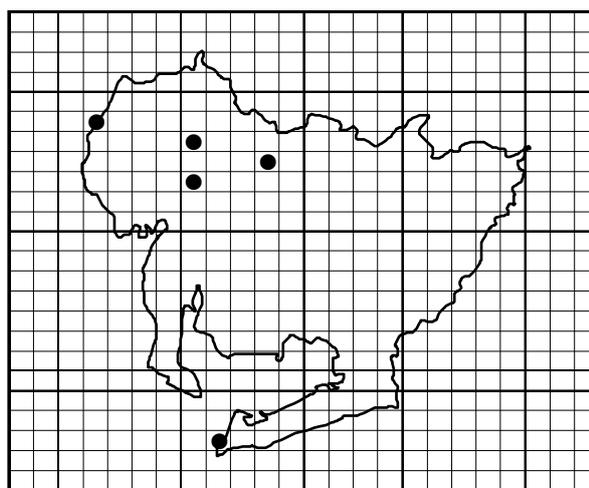
【世界の分布】

日本固有種。

【生息地の環境／生態的特性】

河川敷や海岸などの砂地に孔を掘って営巣する。アブ・ハエなどを捕って幼虫の餌として給餌する。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

土地整備などで自然環境を保つ砂地などが減少し、生息の場所を追われている。

【保全上の留意点】

河川敷や海岸への立ち入りや過度の環境整備を控えて、自然な砂地の再生を考慮する。

(2009年版を一部修正)